

はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 83
2026年(令和8年)
5月14日



4月から 小学1年生

— 大更こども園 —

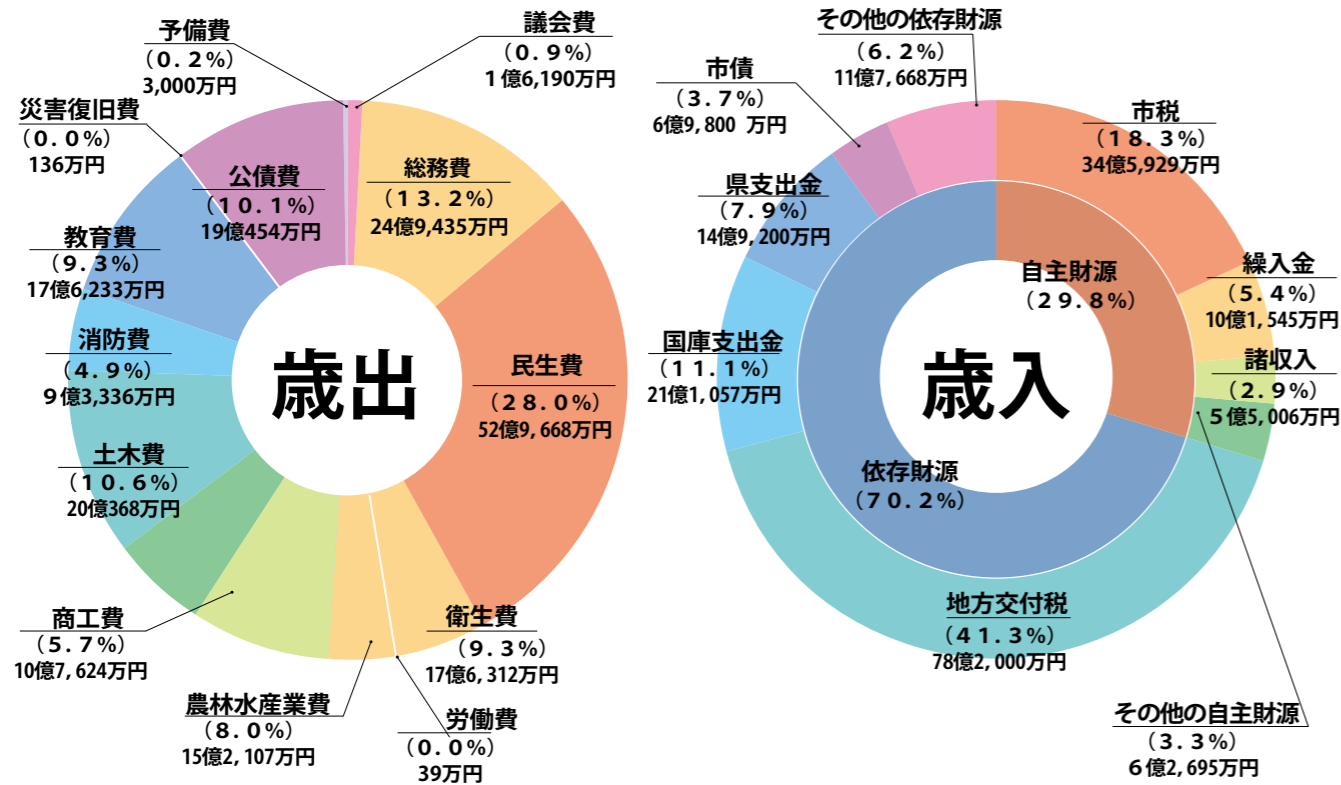
主な内容

- 特集記事…………… P 2
- 8年度予算…………… P 3
- 3月定例会…………… P 6
- 一般質問…………… P 9

8年度 予算

一般会計予算額は 189億4,900万円

— 前年度比21億5,200万円(10.2%)減 —



※ 構成比と金額は、各項目を四捨五入していますので、合計は必ずしも一致しません。



特別委員会について

特別委員会について

特別委員会は、議会が特定の重要な課題やテーマについて、迅速かつ専門的に調査・審議を行うために期間を限定して設置される委員会です。これにより、限られた時間の中で効率よく議論を深め、市政に反映させることが可能となります。一般的な常任委員会が市政全般にわたる日常的な行政監視や政策審議を担当しているのに対して、特別委員会は決算や予算など特定の事案に絞って集中的に審査を行う点が大きな特徴です。特別委員会の役割は、一時的な設置という性質から、より専門的な知識や判断が求められるテーマに対応し、市議会の調査・審議能力を高めることにあります。設置期間が終わると解散され、その後の審議状況により必要に応じて再設置されることもあります。

決算特別委員会

決算特別委員会は、前年の歳入・歳出の実績(決算)を詳しく審査するために設置されます。決算は、市が計画的に財政運営を行い、適切に税金や各種収入を活用しているかの最も重要な指標の一つです。委員会では、決算報告書に示された数字や各施策の執行状況を細かく点検し、不正や無駄遣いが

予算特別委員会

予算特別委員会は、毎年度の予算案に対して詳しく検討を行うために設けられます。予算は、次年度に市がどのような事業を実施し、どのくらいの費用をかけるかを示す重要な計画です。委員会では、市民生活や地域経済、福祉、教育、インフラ整備など幅広い分野にわたる予算内容を多角的に審議し、実効性や優先順位を踏まえた評価を行います。また、提案された予算案に修正や補足を加え、より市民にとって有益で効果的な予算となるよう議会での議論を充実させる役割も担っています。結果的に、予算特別委員会の審査を経て、議会は責任ある予算決定を行うことができます。

予算特別委員会での主な質疑

- Q** 地方揮発油譲与税の暫定税率が廃止されたが、本市の場合、どのくらいの減収額と試算しているか。
- A** 地方揮発油譲与税の分として、暫定税率分の15・4%の減と見込んでいる。
- Q** 固定資産税の滞納繰越分減の一番大きな要因は。
- A** コロナの影響による固定資産税猶予の部分が収納され、令和7年度にはそれが解消してきた。
- Q** 入湯税が71万8千円ほどの減額予算であるが、あずみの湯の工事が関連しているのか。ポンプが稼働して温泉が汲み上げる開始時期について伺う。
- A** あずみの湯の入湯税がかからなくなったのが大きな要因である。3月中旬から工事再開を目指している。実際の工事は、これから協議し早急に再開できるように努める。
- Q** 山林所有者から、40センチの立木を林業業者に売ろうとしたら、空白地状態で境界線がないと相談を受けた。国土調査のデータ入力が未処理のためだと思いが、国土調査成果修正用土地調査測量委託料は、8年度の予算に計上しないのか。
- A** 空白地帯の山林は、まず全体把握が必要である。現在は周辺の調査を進めている。その結果を受け、空白地域の解消に努めることに進めていく。

予算特別委員会での主な質疑

- Q** LED化を自治会などで取り組んでいる。昨年度と同じ600万円ほどの予算計上であるが、LED化工事は令和8年で終了するのか伺う。
- A** 企業局の補助金を活用し、8年度は西根地区の200基ほどを計画している。市が管理する防犯灯は、あと2年ほどでLED化が終わる見通しである。
- Q** 公道、道路側に空き家が年々傾斜している。定期的なパトロールなど対策を取っているか。
- A** 空き家については、現地調査を実施してきた。特に危険な状況の物件や通報などがあった場合、速やかに現地を確認し、回答用紙を添えて管理を徹底するように連絡、パトロールも随時行っている。
- Q** 荒屋新町の旧生活改善センターの今後の解体に向けた方向づけと、危険な時は対策を講じるのか伺う。
- A** 早期に解体する施設の位置づけである。予算の関係を見ながら検討していく。今後、状況を見ながら適切に管理する。
- Q** 生活保護扶助費は2億2800万円が予算化されている。今後も増えていくのか伺う。
- A** 世帯人数は減少傾向である。令和8年度の予算内訳は、生活扶助費9100万円ほど、医療扶助が1億2300万円ほど、介護扶助1300万円ほどである。

予算特別委員会での主な質疑

- Q** 大更駅前拠点整備事業について、工事の完了が遅れている。工事の監理業務委託の増額について内容は。
- A** 工事の監理業務は、8年度では予算措置をせず繰越明許の予算内で行う。前回の工期延長の増額予算での対応となる。
- Q** 大更駅前沿線商業用地は、今まで多額の投資をしてきた。何としても無駄のないようにやっていかなければならない。8年度の目標が2名となっているが内容は。
- A** 過去の販売実績に基づいた8年度販売計画目標である。今までさまざまなPR活動をやってきた。市外の方からも問い合わせが何件かある。今後市外も含めしっかりとPRしていく。現在、7年度に1名の申請があり準備を進めている。
- Q** 企業誘致推進事業について、新産業用地基本計画の調査業務委託料として2295万円とあるが内容は。
- A** 現在、経済産業省のGX産業団地認定に向け申請をしている。市内に新たに工業用地を造成する基本計画を策定するもの。市道整備事業委託料について、沢口地区流雪溝詳細設計業務委託料1500万円が計上されている。業務委託の期間は、説明会・意向確認の結果、管理組合を組織化し設置を行いたいという回答を得た。今後、流雪溝に流す用水の水量などを確認し、秋口までかかる形で精査していく。

主要な生産者から畜産事業全般のアンケートがあった。飼料費高騰は深刻である。調査結果がどう反映されるのか。

- Q** 今回調査した意見をもとに、国や県などの各種補助事業などの計画の大多ととなる市の畜産振興プランを策定し、繁殖育成センターや関係機関と一層連携を図る。繁殖育成センターの計画では、利用頭数616頭となっているが、現時点の受入れ状況は。
- A** 令和8年3月1日現在で、乳用種275頭、肉用種が98頭、計373頭となっている。4月からは市外から肉用牛の受入れも予定している。
- Q** 鳥獣被害に関しては、予断を許さない状況と考える。8年度さらに対策を強化する意味で電気柵事業、樹木伐採事業の申し込みなど臨機応変に対応し、申請に来た方へ正しい説明を行うことで、単なる許可交付対応を行わないようにしては。設置をする際、また、あとの状況を検証していく。申し込み状況なども踏まえ、要望が多い時は対応を考えていく。
- Q** クマ対策を考えたときに、スクールバスの規定で小学校は4歳以内、中学校は6歳以内が徒歩という決まりがあるが、全区間利用できないか考えを伺う。
- A** 教育委員会は、市との調整を図りながら児童生徒の安全を第一に考え常に取り組んでいる。

沢口地区は高齢化が進んでおり早く流雪溝建設を実現しなければ管理が非常に大変である。完成を急いでいただきたい。

- Q** 過疎債を入れての事業になる。他の過疎債事業と調整しながら進めていく。
- A** 松子線踏切改良について、順番がありなかなか進まないという状況が現状は。踏切改良が最重要課題と考えている。踏切改良は市単独ではなくJRと協議し進めていかなければならない。現在、後藤川圃場整備関係で森子踏切を令和10年度以降に切換え工事実施予定。以降、松子踏切の協議・設計工事と進める予定であり、状況を見ながら頻りに要望していく。
- Q** 災害対策事業の食料品の備蓄数、場所、移动式エアコンなどの購入の詳細は。
- A** 毎年300食購入し、現在の備蓄数は2700食であり庁舎内に保管している。移動式のエアコンは5台購入し、これに付属するポータブル電源、予備バッテリーなども5組購入予定である。
- Q** 平館高等学校が非常に厳しい状況にある。振興対策として833万円の予算が3年間変わらないのはなぜか。
- A** 内容は、進路指導支援と部活動の強化および支援、そして国際理解教育の推進支援、学習支援員の支援など、さまざまである。予算額は変わらないが、令和7年度から教育委員会として、市内外の中学校を訪問しながら平館高校の魅力を伝える。次年度も強力に進めていく。



平館高等学校

平館高等学校教育振興事業

【予算額】 833万円

【事業内容】 教育支援、部活動の強化、進路指導などの支援を行う平館高等学校教育振興会の事業に対し補助を行う。



防災訓練の様子

災害対策事業

【予算額】 2,723万円

【事業内容】 災害発生時に被害を最小限にするため、自主防災組織化に係る事業を推進し、食糧などを備蓄する。



大更駅前沿道商業用地分譲地

大更駅前拠点整備事業

【予算額】 1億8,424万円

【事業内容】 八幡平市交流複合施設を中心に商業・文化エリアの構築と関係人口の拠点としてのにぎわいを創出する。



ガバメントハンターの皆さま

有害鳥獣駆除事業

【予算額】 1,989万円

【事業内容】 ツキノワグマやイノシシによる被害や目撃が拡大傾向にあることから、有害鳥獣対策を実施、被害の軽減を図る。



繁殖育成センター

畜産施設管理事業

【予算額】 3,633万円

【事業内容】 畜産経営体（農家）の労働力軽減、飼養頭数の維持、乳質や乳量の拡大を図る。



LED化した防犯灯

地域安全普及推進事業

【予算額】 1,160万円

【事業内容】 防犯地域安全への理解の促進と刑法犯罪件数の減少を図る。

3月定例会

●会期 2月19日～3月17日(27日間)

焼け走り国際交流村条例や 当初予算など36議案を可決



3月定例会議案採決(議案第30号)

今回は	
報告	2件
市長提出議案	35件
議員提出議案	1件

【議案第1号】教育委員会の教育長の任命に同意を求めることについて

教育長人事案件 全会一致で同意

令和8年3月31日をもって辞職する教育長の星俊也氏の後任に田村忠氏を新たに任命しようとするものです。

Q 長年にわたり八幡平市の教育に尽力され、現在、小学校と中学校の統合という大きな事業を抱える中、なぜ辞められるのか。

A 今年度から体調がすぐれないということも含め、星教育長からいろいろとお話を聞く中でやむを得ないということと受理をさせていただいた。

Q 市は今後5年間で小学校と中学校の統廃合という大きな課題に取り組まなければならぬが、十分留意した上で拜命されているのか。

A 田村忠さんは、旧西根町時代に教育委員会に在籍していた経緯もあり、今回の統合の件もご理解いただいていた。

Q 定額減税補足給付金(不足額給付分)について、予算の1300万円を不用額として減額しているが、給付を受けられなかった「漏れ」はないのか。

A 市としては対象となる全ての方を特定し、申請を促す通知や勧奨を行ってきた。給付実績は約97・5%に達しているが、最終的に申請を辞退されたり、手続きをされなかったりした方の分が不用額(実績に基づく精算)となったものである。

Q 中東情勢(イラン攻撃)による原油高騰が懸念される中、道路維持費などの燃料(A重油やガソリン)不足や価格高騰に対し、市はどう備えるのか。

A 現時点では、燃料単価の推移を注視している段階であり、特別な予算措置は講じていない。ただし、今回の補正予算でも物価高騰対策事業(商品券の発送など)を継続しており、市民生活への影響を抑えるための既存施策の活用を優先している。

おり、この厳しい局面で先頭に立って課題解決に取り組んでいただける方である。新しい教育長の任期はどのような期間か。

A 本年4月1日から現在の星教育長の在任期間である本年11月14日までとなる。

Q 再任用という形で長期的視点があるのか。

A 制度上、やむを得ないが、次期についての明言は、この場では差し控えたい。

【議案第16号】岩手山焼け走り国際交流村条例の一部を改正する条例

焼け走り国際交流 村条例一部改正

焼け走り国際交流村条例の一部を改正するものです。

Q 市の直営になるが、どのような形で管理運営するのか。

A 春には最低限トイレなどの利用を可能にする。今年7月には岩手山の山開きも予定され、登山者の不便にならないように対応していく。また、温泉施設については、さまざまな修繕が必要なことからコストも詰めていく。

【議案第31号】令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算

討論(令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算)

【反対討論】 齊藤 隆雄 議員

一般被保険者国民健康保険税に子ども・子育て支援納付金分(現年課税分)1417万7000円が計上されている。本来、国民健康保険は病気やけがの治療に備えるための相互扶助制度である。子育て支援という別の目的に上乗せすることは、保険制度の本来の在り方をゆがめるものである。税金ではなく保険料という形で徴収することで、国民の抵抗感を抑えるものであるが、実質的な隠れ増税である。自営業者や非正規雇用者が加入する国保は、被用者保険(社保)に比べて所得に対する負担率が高くなる傾向にある。子どもにない世帯や独身者からも強制的に徴収するため、若者の経済的余力を奪い、結果として結婚や出産を遅らせる少子化助長策になりかねない。社会保険制度の趣旨を逸脱している。反対の立場での討論とする。

【議案第22号】八幡平市過疎地域持続的発展計画の策定に關し議決を求めることについて

八幡平市の持続的 発展計画を策定

八幡平市過疎地域持続的発展計画を策定しようとするものです。

Q 計画にある「教育の質向上について」、具体的にどのような取り組みを進めるのか。

A 具体的には、コミュニティスクールの活用や一人一台のタブレット端末を活用した自学自習の推進、中学生が地域づくりに参画する主体的・対話的な学びの場を広げていく方針である。

Q 教育関連の計画や文言が複数の資料に分散しており分かりにくいのではないのか。

A 市の最上位計画である「第3次総合計画」を基に、各事業の目的に応じて個別計画(過疎計画など)を策定しているためである。全体の方針については、毎年度の市長施政方針や教育行政方針に集約している。

【議案第24号】令和7年度八幡平市一般会計補正予算(第9号)

4億727万円の 減額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ4億727万4千円を減額し、総額225億3351万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼多面的機能支払事業 7559万円(減額)
- ▼定額減税補足給付金事業 1300万円(減額)
- ▼道路等維持補修事業 482万8千円(減額)

Q 多面的機能支払事業は、当初3億3000万円余りであるが、今回の補正で7500万円も減額した主な要因は。

A 国の予算配分が確定したことに伴う精算が主な要因である。本事業は、国の予算内示率が変わりやすいため、当初は前年度比75%程度の見込みで計上し、最終的な確定額に合わせて補正を行ったものである。

【反対討論】 高橋 悦郎 議員（日本共産党）

当市の最大の課題は、出生数の減少である。最近の出生数を見ると、令和5年度は61名、令和6年度が57名、令和7年度の現在時点では63名となっている。これは、想定を超える減少数と考える。その要因の一つと思われるのは、子育て世代と思われる若年層が依然として滝沢市や盛岡市などに転出をしていることである。その転出を防ぐ対策として、子育て世代への安価な宅地の供給が必要ではないか。市長は、大更駅東側に子育て世代向けの宅地造成を民間事業者に進めていただくと思われているが、いまだ動きはない。残念ながら、8年度予算には、関連

する予算が計上されていない。市が必要な予算を投入して、直ちに進めるべきである。次に、8テラスの開館を120日間の再延期をすることについてである。再延期による当市の財政負担はないと考えていたが、指定管理者は4月1日開館に合わせて、既に職員を雇用する予定になっている。30名ほどの職員の120日分の人件費を支払うことが質疑の中で明らかになったことは驚きであった。開館準備委託料は、令和8年4月1日の開館に向けて、既に1400万円予算化している。開館準備の予算は新たに必要ないはずである。以上ことから、令和8年度一般会計予算の反対討論とする。

【賛成討論】 立花 安文 議員（八起会）

令和8年度の一般会計予算総額189億4900万円は、令和7年度当初予算から約21億5000万円が減額になった。しかし、間もなく完成する市交流複合施設（8テラス）建設関係が主な減額の理由である。また、令和6年度当初予算額182億7900万円を超える金額であり、住民福祉の向上に配慮した予算であると評価する。歳入においては、人口減少が続く中において市税の増額は、着実な産業振興施策の展開と的確な行政運営が効果的に機能している。ふるさと応援寄附金は3億7000万円を計上しており、寄附金の増額は地場産品の需要拡大や特産品開発につながり、

地域活性化が図られることから評価する。歳出においては、市交流複合施設（8テラス）の開業準備、新たな産業団地の用地選定に向けた基本調査、八幡平市初の本質ハイオマス発電所建設関係への補助、第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会の開催、松尾地区統合小学校開校に向けた費用など、第3次市総合計画のスタート年にふさわしい各種事業に対して、予算が計上されており評価する。財政の健全化を進め、市債残高は前年度対比で、90・1%と大幅に減少している。令和8年度八幡平市一般会計予算には、さまざまな住民福祉施策が盛り込まれており、市民の付託に十分、応えていることを評価する。

令和8年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)																		議決結果	
	1 山口 朋文 (無会派)	2 外山 一則 (八起会)	3 田村 正元 (八起会)	4 齊藤 隆雄 (日本共産党)	5 関 治人 (八起会)	6 羽沢 寿隆 (八起会)	7 工藤 多弘 (松西会)	8 勝又 安正 (八起会)	9 北口 功 (無会派)	10 熊澤 博 (自由クラブ)	11 立花 安文 (八起会)	12 渡辺 義光 (市民クラブ)	13 工藤 直道 (自由クラブ)	14 古川 津好 (松西会)	15 高橋 悦郎 (日本共産党)	16 高橋 光幸 (市民クラブ)	17 井上 辰男 (八起会)	18 工藤 隆一 (八起会)		
議案第30号 令和8年度八幡平市一般会計予算	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決
議案第31号 令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	原案可決

※議長は採決に加わりません

一般質問

質問した事項

- 立花 安文 議員（八起会）……09
 - ・定住対策事業について
 - ・消防団について
 - ・県要望について（東北自動車道の通行止めによる国道282号の立ち往生の解消について）
- 渡辺 義光 議員（市民クラブ）……10
 - ・文化芸術活動の拠点、市民センターの役割と活用について
 - ・教育長の教育理念とふるさと教育について
- 工藤 直道 議員（自由クラブ）……10
 - ・歳入確保について
 - ・保育所（園）など入所申し込み申請について
- 羽沢 寿隆 議員（八起会）……11
 - ・再生可能エネルギー普及の現在の見通しについて
 - ・第51回衆議院議員総選挙の結果を受けて、本市への影響について
- 高橋 悦郎 議員（日本共産党）……12
 - ・広域の新ごみ焼却施設建設について
 - ・統合中学校建設事業について
 - ・企業誘致推進事業について
- 工藤 多弘 議員（松西会）……12
 - ・八幡平市交流複合施設「8テラス」について
 - ・行財政の健全化について
 - ・平館高等学校について
- 外山 一則 議員（八起会）……13
 - ・地域公共交通について
 - ・農業振興について
- 山口 朋文 議員（無会派）……14
 - ・外国人住民の急増を踏まえた地域設計と、急激に進行する少子化への施策について
 - ・地域住民の声を気軽に行政へ届ける仕組みづくりについて
- 熊澤 博 議員（自由クラブ）……14
 - ・過疎債の在り方について
 - ・指定管理者制度の在り方について
- 古川 津好 議員（松西会）……15
 - ・大更駅周辺の開発について
- 田村 正元 議員（八起会）……16
 - ・子育て支援と学校教育について
 - ・社会基盤の維持、整備について
 - ・観光振興対策と今後の振興計画について
- 北口 功 議員（無会派）……16
 - ・地域公共交通事業について
 - ・ごみと環境問題について
 - ・防災と災害発生時における避難所などの通信確保について
- 齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……17
 - ・子育て支援の拡充・充実について
 - ・公共交通、コミュニティバス運行事業について
 - ・安代地区の降雪について



たちばなやすふみ 立花安文 議員 (八起会)



消防団員の実員数は 団員の实員数は718人



2026年消防出初式の分列行進

問 消防団員は、条例定員850人に対して、実員数はいくらか。また、実員数のうち、機能別消防団員数および女性団員数は。

市長 実員数が718人である。そのうち、機能別消防団員が119人、女性団員は36人である。

問 団員の募集、勧誘方法について何う。

市長 各分団員による勧誘と春の火災予防広報に合わせ、団員募集のチラシを全戸に配布している。まずは現役の消防団員が団員を勧誘することが必要と思っ

定住対策事業

問 8テラス内に設置する移住定住センターの運営体制はどのようになるのか。

市長 移住コーディネーターは3人体制で、土日や祝日の相談受付にも対応する。移住支援金の支給状況

について何う。

市長 令和5年度は、3世帯で4人、6年度は2世帯で2人、7年度は4世帯で10人に支給した。

問 住宅団地整備事業の概略構想は。

市長 大更駅東側に住宅団地を検討している。

県要望について

問 国道282号の渋滞や立ち往生の解消を県に要望しているか。

市長 オペレーター不足で除雪体制が十分でなかったと聞いている。国道の改良整備促進は要望している。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(市民クラブ)



語り継ぎたい二宮金次郎

「積小為大」の教えを実践



西根中の二宮金次郎像(3月13日)

問 西根中学校・平笠小学校の校舎前には薪を背負い歩きながら読書をしている二宮金次郎像がある。金次郎が教科書から消えて久しいが、若い人たちは実像や名前も知らないようだ。金次郎の生き方や報徳の思想を学習してほしい。考えは。

教育長 戦後の教科書検定制度で学習指導要領に準拠し、特定人物を掲載する仕組みがなくなった背景がある。一方、金次郎が説いた報徳思想「公共の精神」や「勤労の大切さ」は広く学ぶべきである。教育委員会として、その精神を継承したい。

問 教育長室に教育長が揮毫した金次郎の「積小為大」の掛け軸が掲げられている。この名言と教育理念を伺う。

市民センター活用
問 4月から八幡平市文化芸術推進計画が施行される。市民センターは文化芸術、コミュニティ活動の拠点として重要な施設である。環境整備と組織体制の見直しが必要である。見解は。

市長 市民センターの設置目的は「市民の生活文化の向上と福祉の増進を図り、併せて地域社会における自主的活動の促進に資する」と条例で規定。この目的実現のために一人職場の解消、Wi-Fi設置、管理運営方法などを調査、研究する。



くどうなおみち
工藤直道 議員
(自由クラブ)



将来に向けての財政運営

歳入に見合った歳出を



財政負担が予想される建設事業

問 八幡平市の自主財源の現状と、岩手県内での位置づけを伺う。

依然として地方交付税などの依存財源に頼る構造が続いている。

市長 令和6年度決算において、市の自主財源比率は30・0%である。これは岩手県内33市町村のうち23番目であり、県平均の33%を下回っている。

問 人口減少局面において、今後の市税収入をどう見込んでいるか。

市長 8年度当初予算案では、賃上げによる所得増やエネルギー関連設備の固定資産税増により、前年度比3・9%増の約34・6億円を見込む。中長期的には、人口減少の影響はあるものの、企業誘致や賃金上昇の効果を考慮し、「おおむね現状維持」と推測している。

保育資源の偏在
問 特定の保育施設への希望集中や、選考の不透明感への対策を伺う。

市長 選考基準となる「点数」は申込時に保護者に公開されており、透明性を確保している。年度途中の入所が困難なケース(主にゼロ歳児)はあるが、待機児童は発生しておらず、翌年4月には全員が希望施設に入所できている現状にある。



はざわひさたか
羽沢寿隆 議員
(八起会)



安定して働ける職場を

PRに努めていく

問 本市は27万戸という全国屈指の再生可能エネルギー生産地である。それを活用し、企業誘致に結び付けられないか。市民は安定した職場を求めている。

大限の努力をしていく。

市長 既に問い合わせは何件か来ている。今後もPRを展開し、誘致に向けて最

問 Jクレジットの「水田中干プロジェクト」一年目の成果はどうか。

る本市において、Jクレジット活用こそが森林を守る唯一の手段ではないか。

市長 具体的な支援は見えてこないが期待はしている。

国からの財政支援

市長 今後検討していく。

問 高市政権になり国の財政支援が増えるのではと期待している。具体的な動き



稲庭風力鉄塔基礎工事現場

の外国人に対する救急搬送や医療にかかる費用は基本的に無償である。マナーやルールを守らず、そのような事例になった場合は自己負担でよいのではないか。

市長 国の法整備が肝要と考える。国の政策が進むのであれば適切に対処する。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



高橋悦郎 議員 (日本共産党)



統合中学校建設候補地は

優先候補地は現西根中



統合中学校建設の優先地の西根中

問 松尾中・西根第一中・西根中の三中学校の統合が進められている。この学校統合については、コンサル業者に調査が委託されていた。コンサル業者の調査報告を受け、統合中学校の建設予定地を教育委員会として結論を出したのか。

教育長 先般コンサル委託業者から成果が案示されたことから、2月に開催された「学校適正配置庁内検討委員会」そして「西根・松尾地区中学校統合検討委員会」での協議を経て、最優先候補地を現西根中学校としてご理解をいただいている。

問 統合中学校の建設費について、現西根中学校の場合、住民説明会では、29億7800万円と説明していたが、コンサル業者の報告書では53億5000万円とあり、余りもかけ離れた試算になっているが。

教育次長 統合校の開校を令和13年として、今から4年後の建設時期を想定して試算した。物価高騰や建設業者の働き方改革などを考慮した試算である。

問 岩手町が進めている中学校建設では、国の補助は33%と伺っているが。

企画総務部長 国の補助金が基本的に50%であるが、岩手町では33%となっている。岩手町の全体校舎建設費が40億円と伺っている。これで試算すると、一般財源負担は11億円と想定される。



工藤多弘 議員 (松西会)



完全オープンの期日は

令和8年8月を目指す



オープンが延期された8テラス

問 大更駅前前の8テラス建設工事が230日も遅れた理由は。また、コンサルの責任はないのか。

市長 工期延長は「やむを得ない環境変化」によるもので、コンサルの過失ではないと認識している。近年の急激な労務需給の変化や資機材の需要環境の変化が原因である。

問 なぜ「監理業務」の契約額だけが増額されたのか。また、竣工直後の備品搬入は間に合うのか。

市長 期間延長ではなく、本体工事に合わせて行う作り付け家具や大型収納など

の「専門的な調整業務」が追加に伴う増額である。備品搬入も計画通り進める。

問 図書館の引越越しへの影響や、完全オープンの期日はいつか。

市長 令和8年8月の全面オープンを目指す。準備期間が短縮されたため、図書



外山一則 議員 (八起会)



デマンド交通西根地区は 実証運行後検証してから



デマンドバス「よぶきた八幡平」

問 デマンド交通「よぶきた八幡平」の実証運行が2月から始まっている。現時点での成果は。

市長 2月20日現在、1日平均11・4人の利用である。他市町村事例において今後増加する傾向が多いので注視していく。

問 本格運行の予定は。まちづくり推進課長 順調にいけば本年10月からというスケジュールである。

市長 実証運行において利便性や効率性、運行コストなどを検証し、基本となるものを確立した上で、西根地区への展開に進む。

問 第3次八幡平市総合計画基本構想の前期計画に「観光振興と一次産業の連携」とあるが具体的には、農業と観光業の連携

農業振興について

市長 農業と観光業の連携

が弱いことは課題と捉えている。先進事例を研究しながら、事業を構築していく。

問 耕作放棄地や遊休農地だけではなく、周りに悪い影響を与える荒らした農地もあるが見解は。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



山口朋文 議員 (無会派)



声が届き見える仕組みを 多様な手法を検討する

問 誰もが安心して声を届けられる環境整備の考えは、市長 多様な手法の検討とともに双方向きを高め、政策反映力の強化に取り組み。
問 寄せられた意見の見える化と、対応状況や検討結果など明確に見える発信とフィードバックは十分か。

市長 回答の公表は行っているが、対応過程や結果の発信には改善の余地がある。
問 行政へ気軽な声を届けられる仕組みの課題は。
市長 提言や対話などの広聴事業を実施しているが、利用の限定化や団体の固定、周知不足が課題である。

問 本市で生まれ育った若者が安定した生活ができるよう、企業誘致を最重要政策とし財源配分する考えは。
市長 GX産業団地構想を柱に国の支援も活用しながら財源を重点的に配分し、若者が地元で働き暮らせる環境づくりを進める。



市役所の入口に設置された意見箱



ひろし 博 議員 (自由クラブ)



七時雨憩の湯の指定管理 現実から乖離した見込み

問 合同会社七時雨が指定管理する七時雨憩の湯は、令和4年度から7年の年末まで営業損失が続いている。指定管理料の算定根拠は。
市長 全ての年度において、賃金や燃料費などは、基本的に同額としている。
問 職員7人とパート労働

者の賃金は年1414万2000円に固定され、令和2年のA重油の価格は7年には1・7倍に高騰している。労働基準法や最低賃金制度に違反しない遵法経営をさせるのが市の責務と考えるか。
福祉部長 現在の指定管理

については、令和8年度までの5年間の算定見込みであり、このような物価高騰が進むことは予見されていなかった。当時の賃金水準あるいは燃料価格などを踏まえた指定管理の見込みで、経過すると現実と乖離していたかなと考える。
問 予測困難なコスト増加や売上減少が生じた場合、自治体と協議して指定管理料を増額しているところもあるようだが市の考えは。
市長 管理に関する規定に基づき、指定管理料が不適当と認めるときは、変更を申し出ることができると定



七時雨憩の湯



ふるかわつよし 古川津好 議員 (松西会)



大更開発112億の効果 夢が広がるまちをを目指す

問 計画された大更駅東側の住宅用地が別な用途の利用へと進んでいる。住宅が建つと人が集まる。そうではないものが駅前が増えてしまうと大変である。急がないと別なものに埋め尽くされてしまうがどうするか。
市長 非常に危機感を持つ

ている。民間主導という形で取り組んできたが、結果として何も進まない。他町の例を踏まえてこれから手をかけていきたい。
問 大更駅前の「8テラス」の完成が、当初の前年11月から今年の2月末に、そして今度は6月末に変更に

なった。二度に渡る遅延の報告を受け、どう感じたか。
市長 じくじたる思いもある。型枠大工などの不足でやむを得ないと受け止めた。
問 工事の遅れに伴い市民の皆さまへ広報でお知らせするとの答弁があった。この遅れに伴い市民サービス



後れを取った駅東側住宅計画地

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



たむらまさもと 田村正元 議員 (八起会)



問 統合予定の中学校の建築予定費用が2年前の説明会で38億だったものが、今回は58億と異常に高騰している。労務単価の上昇や建築資材の高騰で、今後60億、70億と青天井になる可能性がある。発注する側の市、発注承

認する側の議会議員も含めて、建築に対する知識向上の勉強会をする必要があるのではないかと。市長 指摘のとおり、建設費の高騰が今後も続いて、一年ごとに上昇する想定も考えられる。議会と当局との共同もしくは、

それぞれの視点で研修会を開催する事も大事であると思われる。市民部長 そういう事案が生じたときは検討していく。国際交流費百万円 問 民間にて美術館などの芸術施設を造る場合、市として優遇政策はできるのか。



建設費高騰に対応した戦略が必要

建設知識向上議員勉強会 合同研修会の開催検討

税制など優遇検討

国際交流費百万円

えてみては。

市長 生徒数が減少している、ひとりあたり換算すれば増額となっている。国際交流費100万円が未執行なので、それを活用しながら、今後の展開は考えていきたい。



きたぐち いさお 北口 功 議員 (無会派)



よぶきた八幡平始まる 利用環境整え利用者増へ



バス停に到着するよぶきたバス

問 八幡平市予約バス「よぶきた八幡平」の実証運行が松尾地区で開始された。運行開始に先立ち説明会があったが、何力所で行われたか。今後利用者増に向けた具体的な取り組みはあるか。市長 令和8年1月26日に

八幡平市役所、南寄木集落センター、27日には松尾コミュニティセンター、柏台地区センターの4力所で開催し、2日間で65名の参加があった。利用者増のため説明会を増やすなど問題点の改善をして、利用者増につなげたい。

ごみと環境問題 問 ごみの焼却が禁止されて25年になる。ごみの収集排出量は年々増えている。リサイクルが進んでいる中、環境パトロールの実態と農家から出る産廃ごみに対する助成について伺う。市長 市公衆衛生組合の各支部で、不定期に不法投棄監視パトロールを実施中である。市農業用廃プラスチック適正処理推進協議会を設置し、年2回の一括回収を行い、リサイクルと適正処理の支援をしている。

災害時の通信確保

問 能登半島地震発災当初の通信途絶時、通信衛星が有効だった。通信復旧支援チームを整備する考えは。市長 現時点で実現は難しい。事業者などと連携を強化し災害対応力向上を図る。



さいとうたかお 齊藤隆雄 議員 (日本共産党)



問 完全給食の実施は、小中学校同時に実施する考えはないか。教育長 材料費の増加や備品整備の費用負担が生じることから、国の支援がない中で小学校と併せて独自に中学校の完全給食を開始するのは困難である。

交通ダイヤは連携 問 花輪線とコミバス、公共バスの連携は取れているのか伺う。市長 コミバス・公共バスの幾つかのダイヤは花輪線に合わせた設定である。試験運行の松尾地区の

完全給食、小中校同時に 独自、中学校開始は困難

除雪支援柔軟に

利用者数や反応はどうか。まちづくり推進課長 1日平均11・4人の利用者となっている。予約が難しいという意見、非常に便利であるという意見、大きく2つの評価をいただいている。

問 今年1月、田山地区は連続で降雪があり、積雪は2桁を超えた。災害救助法は、適用できなかったのか。

市長 市民から道路の除排雪に関する要望が、数多く市に寄せられた一方、集落の孤立や市民の生命が危ぶまれるような状況は確認で



安代地区学校給食センター

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



令和8年3月17日の議員全員協議会の様子

統合の候補地は現西根中学校

西根・松尾地区中学校統合に係る進捗状況について、市教育委員会の説明があった。学校統合検討委員会や庁内検討委員会などの意見をいただき、候補地選定の評価内容について、専門業者からアドバイスなどにより精査し評価を行った。グラウンドに建設することで早期開校が可能であり、建設コストやランニングコストが抑制できるなど、総合的な評価が最も高く最優先候補地とされたものである。また、8テラスは、放課後の居場所・送迎スペースとしての施設であると共に、学習環境にも優れ、生徒および保護者の効果的な活用が期待される。

次は **6月定例会** (予定)
※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
6月15日(月)	議案上程 ほか
6月16日(火)	一般質問
6月17日(水)	一般質問
6月18日(木)	一般質問
6月19日(金)	議案審議
6月20日(土)・21日(日)	休会
6月22日(月)	休会
6月23日(火)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時からです(終了時間は日によって異なります)。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

令和8年3月定例会の視聴回数は1,400回です。
令和7年12月定例会の視聴回数は1,534回でした。
(令和8年4月17日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字が入るでしょう？

令和8年3月定例会において、一般質問を行った議員は○人である。

- 応募方法** 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先** 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り** 令和8年6月12日(金)(当日消印有効)
- 前回(No82)の正解** 3(つ) 応募者 15人 正解者 14人

議会運営委員会

- 期日 令和8年1月20日～21日
- 場所 滋賀県米原市(取り止め)、愛知県岩倉市
- 内容 他市議会の議会運営について調査



岩倉市議場での集合写真

回答を作成し、ホームページでも公表している。

岩倉市議会のサポーター制度の取り組みは、市民目線の意見や要望の反映がすぐ取り入れられることは議会運営の活性化を図るために必要であると実感させられた。

若い世代や専門的な知識・経験を持った方々の参加をどう増やすかが課題であった。米原市は、大雪のため視察調査は取りやめとなってしまいました。

市民提言を反映した議会運営調査

岩倉市は、平成30年8月より議会サポーター制度を設置、市民からサポーターを募集し、本会議や委員会を傍聴いただき、意見提言を議会運営に反映させ、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進する取り組みを行っている。

サポーター制度により、議会運営に対する率直な意見や感想を受けて、定例会の区切りごとに、意見などへの



岩倉市議会の視察研修報告の様子

議会広聴広報常任委員会

任期満了に伴う退任のあいさつ

議会広聴広報常任委員会では、議会活動を市民の皆さまに伝え、市政に関心を持っていただくために「ギカイのひろば」を発行してまいりました。委員会は2年の任期で新しい企画に挑戦して、市のことや市議会を「知ってほしいこと！お知らせしたいこと！」をテーマにハロウ安比較から今号の市議会特別委員会まで8回にわたり、



議場での常任委員 集合写真

これまでにない企画で「伝わる広報」を目指してまいりました。

市民の皆さまの協力や参加で構成されるクイズ・声・議会のまど・保育所紹介などに原稿を寄せていただいた全ての方に感謝申し上げます。2年間の任期が満了することに伴い、ご協力いただいた皆さまに心から感謝し、お礼を申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。



議会広聴広報常任委員会の様子



〒028-7397 岩手県八幡平市野畝第21地割170番地

E-mail: gikai@city.nachinantai.lg.jp



☎0195-74-2111(代表)・0195-74-2429(直通) FAX: 0195-74-2105
 ■発行 八幡平市議会 ■編集 八幡平市議会広報広聴委員会

議会のまど



みうら いよ
三浦 伊代さん
 (大更 36歳)

八幡平市で、やって
 みたいをやろう！に

2年ほど前から「わくわく八幡平」という市民団体のスタッフとして活動しています。はじめは体を動かしたいと思ったものの、何をしたら良いか分からず、いろいろ検索したところ「わくはち」を見つけて参加しました。文化的活動もできると知り、見たいと思っていた映画の自主上映会を開催することがきっかけで、さまざまな人とのご縁が生まれ、そこからさらに新しく料理教室やアロマ教室などの開催へと広がっていきました。八幡平市でも、やろうと思えばいろいろなことができるんだ！というマインドを広めていきたいです。

ペ イペイ決済事業が店に
 よっては負担になるた
 め、辞めたりしています。
 (山子沢・40歳女性)

デ マンド運行を西根地区
 でも早めに検討してほ
 しい。交通手段がないため、運
 行が始まったら活用したい。
 (中関・76歳女性)

議 会を傍聴する人が少な
 すぎるので、対策を考
 える必要があると思います。
 (下町1区・74歳男性)

雪 が消えた後、タクシーに
 乗っていると、音がする。
 道路の補修をしてほしい。
 (湯沢・83歳女性)



クイズで寄せられ
 た意見などを紹介
 します。

交 流村の閉館で健康教室
 は廃止です。大更、田頭
 の地区民が通える施設を用意
 して。
 (山後・71歳女性)

ギ カイのひろばをモノク
 ロ作成すると、いくらコ
 スト削減になるか。カラーは
 年1回で。(野駄・58歳男性)

八 幡平市もリサイクルに
 もっと取り組むべきと
 思います。仕分けは大変です
 が慣れてくると思います。
 (向村・71歳女性)

空 き家の母屋や作業小屋
 など雪の重みで崩壊寸
 前の所が多い。市の対応は。
 (寄木・70歳男性)

◆ 編集後記 ◆

選挙で選ばれた議員は住民代表として、議会で条例制定や予算審議などの重要事項の決定を担います。「ギカイのひろば」では、その活動状況を分かりやすく伝え、市民に親しまれる広報誌を目指してまいりました。広聴広報委員会の任期最後の議会だよりの発行に当たり、ご愛読いただいた皆さま方に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

委員長 熊澤 博

保育所紹介



令和7年度大更こども園

保護者会会長

たけだ としゆき
武田 敏之さん

大 更こども園には0歳児
 はっぱ組から5歳児ほ
 し組まで90名ほどが通園し
 ています。年長さんが小さい
 お友達のお世話をし、小さなお
 友達は大きなお友達を慕い、
 子どもたちがのびのびと過
 せる温かな雰囲気にもまれて
 います。季節ごとの行事を職
 員、保護者、祖父母、地域の
 皆さんと協力しながら実施し、
 子どもたちの豊かな感性や社
 会性を育てています。